

## 災害と地域経済

- 被災地企業の損害
- 中越地震特有の現象
- 交通インフラの早期復旧
- 企業が果たした役割
- 震災復興策
- 震災報道の功罪

# 新潟中越地震

新潟県中越地震の発生から三日目の二十五日、被災地に本社、工場などの施設を置く企業は被害状況の確認に追われた。震源地の小千谷市ではほ

ほとんどの企業が設備に損傷を受けており、初の操業停止に追い込まれた工場も。余震が続いているため、危険を避けて従業員を帰宅させるケースもあり、被害の全容把握ができず、復旧の見通しが立たない企業が多い。

旧はガス次第だが、すでに回復した電力だけで操業を再開することも検討している。

長岡市に本社がある二輪・四輪車用計器の大手、日本精機は「詳しい被害状況はまだ把握していない」としているが、小千谷市の計器類組み立ての関連会社、エヌエスアドバンテックが建物、機器にかなりの被害を受けているという。

## 設備損傷、操業停止も

### 酒や米菓、出荷大幅遅れ

04.10.26

小千谷市の酒造会社、新潟銘醸では二十五日早朝の余震で貯蔵用の古い木造の蔵が倒壊した。大小十八本の原酒タンクが設置されているが、どれほど損傷を受けているか把握できていないという。また、製品倉庫内の一升瓶など瓶詰めされた製品も荷積みしたケースが倒壊。瓶が割れるなどの損害が出た。

する予定だが、今後の品薄感は強まりそうだ。越後製菓（長岡市）が全国四千店舗に製造翌日に配送する「日配米菓」の重要拠点、小千谷市の片貝工場で製造ラインの機器が地震の揺れで大きくずれなどの被害が出た。このため、二十四、二十五日の両日に生産を中止。しかし、単体機器の損傷はなかったため、二十六日から部分的な稼働を始める。「昨年、省エネのため導入した自家発電設備が役に立った。水も地下水を利用して不便な場所にあるところがかえって幸いした」と安どしている。

日本有数のきもの産地、十日町市も打撃を受けた。新潟県繊維協会で「相当被害が広がっているようだが、個別業者と連絡がつかず全体像が分からない」と話す。地域を代表する大手、吉沢織物（十日町市）の昭和

# 企業直撃 広がる経済被害



清酒「久保田」の蔵元の朝日酒造（越路町）は醸造設備がほぼ全滅。仕込みの原料から瓶詰めされた製品までほぼ商品にはならないという。貯蔵タンクに保管されていた酒については無事で瓶詰ラインが復旧し次第、出荷

工場施設がある雪国まい

魚沼地域にキノコ栽培



# 日本精機 4輪用生産再開

## 計器、2輪は他工場分散

新潟県中越地震で主力生産施設に被害を受けた県内企業が復旧に向け全力を挙げている。日本精機は二十六日、四輪車用計器の生産を再開した。ただ、小千谷市にある二輪車用計器生産拠点の早期操業再開は困難な見込みで、他工場への生産移管手続きを進めている。越路町に主要拠点を持つヨネックスと岩塚製菓は建物や生産設備に被害を受け、損害状況を調査しながら操業再開を模索している。(一面参照)

日本精機高見工場(長岡市)は年間約二百七十万台の四輪車用計器のうち約百八十万台を生産する主要生産拠点。二十三日の震災発生後、停電のため操業がストップした。同社の計器はホンダを始め三菱自動車など各社に供給されているため、自動車生産への影響も懸念されていた。同社で工場の設備などを調べた結果、被害は軽微なことが判明。二十四

日夜に送電も再開されたため、二十六日操業を開始した。被災した従業員もいるため出勤率は七割。八割。「自動車各社への納入時期の見直しは立っていないが、通常の生産を確保に努力する」とし、業は当面不可能な状態

高見工場や上尾工場(埼玉県)に生産を振り分け



設備の被害で二輪車用計器の組み立てが困難になったエヌエスアドバンテック(小千谷市)

という。同社は計器のほかにもーターの文字盤印刷や樹脂成形も行っており、これらは上尾工場と郡山工場(福島県)に生産を移管する。

物流は子会社の日精サービス(長岡市)を通じて関東方面は上信越道、西日本方面は北陸道経由での運送を進めている。電装部品、液晶モジュールなどを生産しているエヌエスエレクトロニクス(同)は設備に大きな被害がなかったため、生産を全面稼働する見込み。精度が必要な部品は機器の微調整後に生産を始める。同社では被害の全容はまだ把握できていないとしている。グループ六社による生産対策会議を連日開催し状況を確認。全面操業へ向けた方策を立てていくとしている。

# 余震頻発、操業再び停止

04.10.28

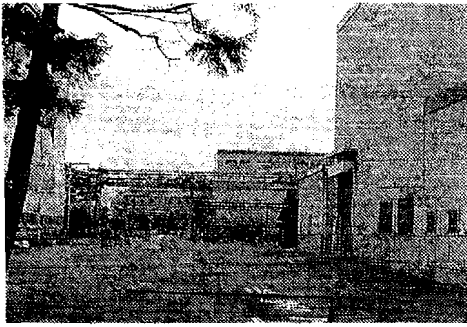
## 工場復旧作業中断も

### スーパー、店外・臨時売り場

二十七日に新潟県中越地震の被災地で強い余震が続いたため、工場の操業停止や復旧作業の中断が相次いだ。安全のため社員を帰宅させた企業や、営業を始めた店舗を再び閉鎖するスーパーも。「設備などに大きな被害はなかった」とする企業が大半だが、頻発する余震に全面復旧への見通しが立たない状況が続いている。

日本精機は二十七日午前中に操業を再開した四輪車用計器製造主力拠点の高見工場（長岡市）の操業を同日午後中止した。同日午前の強い余震で社員が一時工場から避難。設備の点検後に操業を始める予定だったが、午後も強い余震が続いたため、操業を中止した。同社では「設備などに大きな被害はない模様だ

が、安全のため社員を帰宅させた。二十八日から「設備などに大きな被害はなかった」とする企業が大半だが、頻発する余震に全面復旧への見通しが立たない状況が続いている。



復旧作業を中断して社員を帰宅させた北越製紙長岡工場

たため、終了していた燃料ボイラの配管の点検を再度行うとしている。このため復旧作業が一日遅れる見通しだという。ただ、注文

ラスーパーなどを優先して二十八日には一部の抄紙機を稼働させる。トッキの見附工場（見附市）は従業員ほとんどを帰宅させた。生産設備などの点検は終えていたが、二十七日に予定していた操業再開を延期し

た。北越メタルは庄延工場（長岡市）を再開したが、余震を受けて全従業員を帰宅させた。安全が確認できれば、二十八日も工場を動かす方針。倉敷機械も本社工場（同）の社員をいったん帰宅させた。「機器の調整を再度やり直さなければならぬ」としているが、二十八日は一部の操業を始め、週明けにはフル生産体制に戻りたい」と話している。

オーエム製作所の旋盤の主力工場である長岡工場（同）では大型クレーンによる搬送などの作業を中止している。二十八日も小型部品の組み付けなど軽作業のみ操業を再開するが、大型部品の組み付けなどはクレーンの安全点検や走行確認をした上で、余震の状況によって判断する。受注に対応するため、県内で被害が軽微な地域に工場を持つ企業へ外注を検討している。

食品スーパーの原信は北長岡店（同）の店内営業を中止して店外販売に切り替えた。十日町店（十日町市）では店舗の復旧作業を見合わせた。このほか、一部店舗で危険箇所を区画して立ち入り禁止にしているという。原信の店舗は二十四時間営業や深夜営業を行っているが、安全を考慮して二十七日から長岡市や小千谷市の店舗の閉店時間を午後五時—十時に早めることにした。

JR長岡駅前のイトーヨーカ堂丸大長岡店は十四日から営業を再開したが、二十七日午前の余震で午後一前に営業を中止した。夕方から地下の食品売り場を再開、一階に臨時の防災用品売り場を開設した。

# 発生から1週間

# 酒造各社 復旧に全力

## 新潟中越地震

中越地域の酒造会社が地震による被害で出荷不能の状態に陥っている。余震が続いているため倉庫などの確認ができず、損害の全容

## 被害把握遅れる

04.10

震源地の一つの小千谷市では各蔵元が深刻な被害を受けた。新潟銘醸は二十五日早朝の余震で貯蔵用の蔵が倒壊、タンクが変形した。製品倉庫内の瓶もかなり破損しているが、余震の危険もあり、倉庫内を詳しく調べられず被害の全容が分からないという。

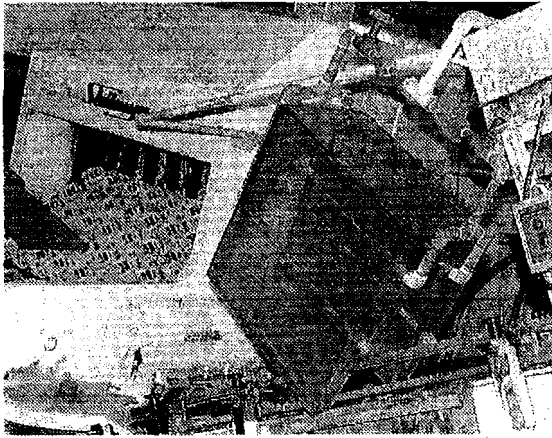
同社の山下進常務は「精米機も損傷したので外注するなど工夫をして何とか製造を再開した

い。雪の多い地域だが、(復旧の妨げになるので)今年は少ないことを望んでいるのだが……」と不安げに語る。

高の井酒造は機械が転倒するなど瓶詰ラインが大きな被害を受けた。瓶詰した商品は千本以上割れたが、貯蔵タンクは無事。県内で出荷量一位の朝日酒造(越路町)は精米、仕込み、ろ過、瓶詰めの一連の工程設備で配管のズレなどが生じており、

事で三カ月分の在庫がある。「ピークを迎えている出荷を最優先し、仕込み作業はいったん中止する(山崎清一営業部長)という。ラインを早期に復旧させ、二、三週間以内で出荷を再開したい考えだ。工場内の土台はしっかりしており、ボイラーも被害がなかった。井戸水もわいており、一部の醸造設備を入れ替え、中断した仕込み作業を年明けには再開する。

五千本も酒や破片をかぶっているのが商品にならないという。ただ、平沢修社長は「久保田などはまだ市場在庫がある。今年造る酒は来年売れるものなので、造りの期間を延ばせば大丈夫」と悲観していない。県内三位の吉乃川(長岡市)も貯蔵タンクや瓶詰めラインにズレやゆがみが生じているが、全体的に製造部門の被害は少なく、出荷も部分的に行っているという。県酒造組合では「情報が錯そうしている。三十日に関係者を集め、被災した蔵元の生産の一部を他の蔵元に移管できないかなど支援策を協議したい」と話している。



傾いた瓶詰の設備 (29日、小千谷市の高の井酒造)

(X)

新潟中越地震

スーパーや  
ホームセンター

物資補給に懸命

一部店舗除き営業へ

新潟県中越地震の被災地域のスーパーやホームセンターが懸命の復旧作業で、一部店舗を除いて通常営業に戻りつつある。陳列棚からの落下による商品破損や停電による冷凍、生鮮食品の廃棄など損害は甚大。しかし被災者への生活必需品の供給者としての役割も期待されるため、緊急の流体制を敷いて物資補給に全力を挙げている。

食品スーパーの原信は長岡市、小千谷市など中越の被災地に全店の半数以上の二十二店があり、大半の店舗で酒瓶など商品が破損した。停電で冷凍・冷蔵装置が止まったため、肉、魚、野菜などの生鮮食品を廃棄した。店舗は損傷が激しい小千谷市の駅前店など三店が現在も閉鎖中。

同社は地震直後から本部社員や仕入れ先の応援

も得て修復スタッフを組織して復旧作業を進めた。商品配送は通常はト先週末にはほぼ全店が通ラックが効率よく店舗を



店舗の損傷が激しく閉鎖された原信の駅前店（新潟県小千谷市）

回が、暫定的に物資の不足している店に荷を送る「ショットガン方式」で緊急輸送している。山岸豊後常務は「要望が多いのが弁当類。自治体や自衛隊から一日何万食という注文を受けるが、総菜工場が復旧せず供給しきれない」と唇をかむ。被災地に二十一店あるホームセンターのコーナーは十月三十一日に全店が営業を再開。天井が一部

破損した小千谷店も一部たりしたため店内営業を欠品はあるものの、ほぼ全品種の販売が可能になった。ジャスコ小千谷店は二十七日から、駐車場に設けたテントで、トレットペーパーなどの日用雑貨、肌着や防寒服など緊急に必要な商品に絞って販売している。

スーパーセンターのペイシア(群馬県伊勢崎市)は小千谷店で天井の一部ははがれたり、棚が倒れ戻った。だが、三日に開

5

各種行事も  
中止・延期  
錦鯉品評会など

地震の影響で被災地では各種行事の中止、延期が相次いでいる。ニシキゴイの養母(ようり)業が壊滅的な被害を受けた小千谷市では三十、三十一日に開催予定だった「第四十四回全国農林水産祭参加新潟県錦鯉品評会」の中止が決定。十一月三日、山古志村でニシ



ギョイの展示即売会や牛の角突きなどが行われる「産業まつり」も開催不能になった。

長岡市は来月一日に開設される起業・研究開発支援施設「ながおか新産業創造センター(NBC)」のII写真IIの記念イベントの中止を決めた。施設は電気が使えるが、水道は止まっている。た

長岡商工会議所(同)は来月九日に創立百周年記念式典などを開催する予定だったが、地域の被災状況を考慮して延期することにした。長岡大学は今年三十、三十一日の学園祭「悠久祭」を無期延期にした。

店予定だった刈羽店は建物に被害はないものの駐車場や浄化槽の損傷が大きく、工事やり直しや再検査が必要。同社では「何とか十一月中にはオープンさせる」と話す。

# 宿泊キャンセルやまず

## 新潟中越地震



被災地以外の温泉地でも予約取り消しなどの影響が深刻に（新発田市の月岡温泉街）

## 県内観光地 風評被害も

新潟県中越地震による新幹線、高速道路など交通網の寸断で県内の温泉など観光地で予約キャンセルが相次いでいる。県外では「新潟全体が危ない」といった風評が流れており、被害もなく交通

アクセスも問題ない地域でも予約取り消しが急増。県では各観光地で八割近いキャンセルが発生しているとみており、風評被害に対処するための情報発信などの対策に乗り出した。

松之山温泉では十一月の予約の九割が取り消された。施設の被害もなく、二日からはほぼ線も全通し通常通り営業している。同温泉旅館組合の

柳一成組合長は「正確な情報を知ってほしい」と嘆く。妙高高原町の赤倉温泉でも地震から三日間で五千人以上のキャンセルが

入った。老舗の赤倉観光ホテルでは宿泊客百人、ゴルフ客二百人がキャンセル。長野新幹線、上信越自動車道など首都圏からの交通網には被害がなかったが、「同じ新潟県とひとくくりでとらえられている」（赤倉温泉観光協会）。

湯沢町は紅葉観光の真ただ中で、通常は旅館

04.11.3-

ホテルは満員だが、「十月分では九割が予約取り消しとなった」（同町観光協会）。顧客の七割が首都圏という村上市の瀬波温泉も八割弱がキャン

判している。新発田市の月岡温泉旅館協同組合では十二月は県内の宴会客が増える時期だが自粛ムードもあり厳しいだろうと予想する。

新潟市の奥座敷、岩室・弥彦温泉でも被害は大きい。昨年三十万人の観光客を集めた弥彦村の菊まつりは、今年も一日から二十四日まで開くが、観光客が極端に落ち込んだ。「一年間の最盛期にもかかわらず、閑散として

岩室温泉の老舗旅館は「史上空前の被害。十一月以降の利用客は前年の五〇％行けばいい」（綿々亭・綿合）という。富士屋もこれまでに二千六百人のキャンセルがあったという。

新潟県が温泉旅館組合などを通じ聞き取り調査したところ、各宿泊施設で予約客の七八割くらいが十月末時点でキャンセルしたという。県観光協会は風評被害を防ぐため、正確な交通情報や観

・ホテルは満員だが、「十月分では九割が予約取り消しとなった」（同町観光協会）。顧客の七割が首都圏という村上市の瀬波温泉も八割弱がキャン

社、観光関連団体、マスコミ各社にも配信する。JTBによると、地震発生から十一月にかけての新潟向けツアー予約二万件のうち、「余震を恐れて四分の一がキャンセルし、残りも旅行先を変えろ人が多い」（広報室）。

年末のスキーシーズンも控えていることもあり、「新幹線再開など、タイミングをみて、新潟観光の安全性などをPRしたい」としている。

年末のスキーシーズンも控えていることもあり、「新幹線再開など、タイミングをみて、新潟観光の安全性などをPRしたい」としている。

6

# 酒造各社 復旧急ピッチ

新潟中越地震

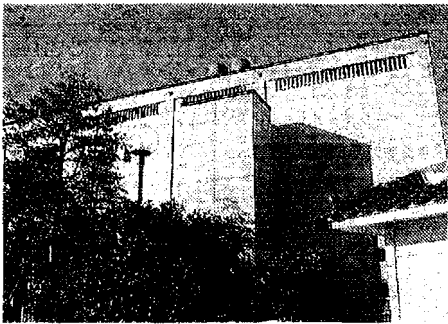
中越地震被災地の酒造各社の復旧作業が急ピッチで進んでいる。新潟県酒造組合は十八日、被災した四十社すべてが出荷を再開し、製造も二十四社が復旧したと発表した。同組合では「新潟の酒が不足するような事態はない」としている。「新潟の酒蔵のほとんどに打撃」などの風評を打ち消すため、東京都内や新潟市内で試飲会などPRイベントも検討している。

## 出荷再開、24社製造

04.11.19

多くの蔵元で土蔵の壁が落下したり、瓶詰ラインが傾いたり、貯蔵タンクが傾いたりといった被害が生じ操業を停止。各社は出荷再開を最優先し、十五日ごろに復旧。製造を再開していない十六社も今月中に八社、十二月に四社、来年一月に二社が復旧する見込み。残る一社は再開のメドが立たず、もう一社は今冬の製造を見合わせるという。

朝日酒造(越路町)は



例年どおりの製造の見通しが立ちつつある朝日酒造の製造蔵(新潟県越路町)

十月末の余震で貯蔵用の蔵が倒壊し、タンク三本が使用不能になった新潟銘醸(小千谷市)は十一日から瓶詰め再開にこぎ着けた。仕込みも十二月一日から始

められるメドが立ったという。ただ、「地震で飲食店、旅館なども影響を受けており、出荷量などの程度になるか読めない状況」(山下進常務)と不安も残る。

高の井酒造(同)は瓶詰めラインが激しく傾くなどしたものの、十五日から本格的に再開した。

「取引先が事情を考慮して多めの発注をしてきている」(山崎清一営業部長)といい、今月は例

年の九割程度の出荷まで見込みだ。県酒造組合では今後、PRイベントの具体的な

中身を詰る開催する会長は「

⑦



# 新潟中越地震

新潟県中越地震で不通になったままの上越新幹線の越後湯沢―長岡間。東日本旅客鉄道（ＪＲ東日本）は今日十九日、十二月二十八日をメドに運行再開すると発表した。日本政策投資銀行新潟支店は新幹線寸断で新潟―首都圏の交通量は七割減、県内消費は年間七十三億円減と試算する。早期復旧は県内経済界にとって切実な願いだ。

「年内開通と聞いて涙が出るほどうれしかった。瀬波温泉（村上市）「汐美荘」の浅野謙一社長は朗報に安どした。県北の同温泉は地震被害が全くなかった。しかし、大動脈のストップによる宿泊客激減という二次被害にあえいでいる。

「これまで新幹線はあって当然。ごく自然の存

## 待ち遠しい新幹線復旧

04.11.30

### 復興希望と不安 県内経済の展望

＝1＝

在だった。大消費地・首。一実際にお客さんを都圏への依存度が高い新潟の観光地にとって、寸断の被害は甚大」と浅野社長は言う。

県旅館組合は十二月二十、二十一日に首都圏で旅行会社各社の店舗を回る集客キャンペーンを行

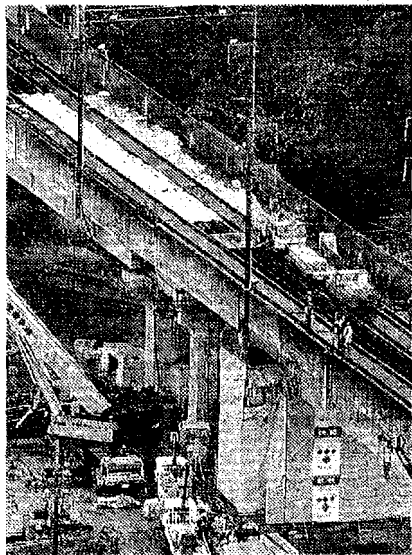
「新潟は大丈夫」ということを分かってもらいたい」という。アビールの根拠になるのが新幹線の全面開通だ。「お客さんにはまず来てもらうのが私たちにあって何よりの支

「交通手段はどうすればいいの」との問い合わせが新幹線の再開見通しを発表された後も続いており、同スキー場では「やはり実際に走り出してもらわない」と高い。

他方の交通機関でも新幹線開通の影響は大きい。地震後、新潟市内でバス利用者が減っている新潟み。最高時速二百四十キロで走る越後湯沢―新潟間常運転する。ただ、昨年は片道最大十四本を増発した臨時列車は減る見込み。ＪＲ東日本によると往復二十七本の定期列車は通

## 消費、年73億円減の試算

一方で、ＪＲでは「増発は最大限努力する」と、新幹線減しているへの期待の大きさを意識している。



補修作業が進む上越新幹線魚野川橋りょうの橋脚

心待ちにすクシー業界からは「この業界は経済効果が最後に反映される。各地の会議や新潟駅の駅やイベントが復活しないビル「COC」限り、地震前の状態に戻す（コ）らない（県ハイヤー・タの年内開通など光明が出口）を運営クシー協会と悲観論も。てきた半面、風評被害やするＪＲ東日。それでも「新幹線は復資金問題など問題が山積本グループの旧のシンボル。風評被害トッキー（新を払しよくするためにも再開効果は大きい」（ホを取材した。

と、新幹線寸断により長クシン経済研究所）とい

浦佐スキー場（南魚沼市）は同月二十一日から営業を始める。浦佐駅前にあるゲレンデで滑る客

浦佐スキー場（南魚沼市）は同月二十一日から営業を始める。浦佐駅前にあるゲレンデで滑る客



小千谷市の鉄工関連のほとんどの中小企業はフル生産が可能（11月、同市内の工場）

## 風評被害で受注減

新潟県中越地震の被災地、小千谷市の鉄工部品関連の中小企業が、地震前の状態に復旧したにもかかわらず「産業被害は甚大」という風評による受注激減に悩んでいる。復旧状況の問題

**小千谷の中小企業**

い合わせもなく、いきなり取引を打ち切られたケースもあるという。鉄工組合などでは「大半の企業で生産能力が一〇〇%戻ったことを県外企業に理解してほしい」と訴えている。

小千谷鉄工協同組合（加

## 鉄工部品「生産体制、ほぼ復旧」

**新潟中越地震**

盟四十九社）と小千谷電子工業会（同二十三社）によると、加盟各社のほとんどが設備などに地震の被害を受けたが、深刻なものは少なく、十一月初めには八割の企業が地震前の生産体制に復帰。現在はほぼすべてがフル生産が可能になったという。

しかし、地震後から首都圏などの取引先からの部品発注がストップしたままの企業が続出。発注しても納期に間に合わないのではという風評が流れ、取引先企業の資材調達担当者が他地域の企業に発注を要更する場面が多いという。地震直後に取引先の担当者が訪れ、部品材料と機器を引き上げられた企業もある。

精密部品製造のある企業は十月末までに機械設備は完全復旧。しかし、フル生産体制に入った後も十一月四日まで受注はほぼゼロ。十一月末時点でも前月比三割減に落ち込んでいる。県外企業からの受注は半減しているという。

日本精機

# 自動車販売の新会社

## 事業取り組みを強化

日本精機は自動車販売の新会社「NSモーターズ」（新潟県長岡市、中沢祥行社長）を設立、一日から営業を始めた。販売車種はボルボとランドローバー。日本精機グループでは物流事業などを手がける日精サービスが自動車販売事業を行って来たが、同事業を強化するため新会社として独立させることにした。

新会社の資本金は一千

六年に県内初のボルボ車専売ディーラーとして「エヌエスモーターズ」を長岡市喜多町に開業。二〇〇二年にはランドローバーの正規代理店を開設した。

日精グループ全体の自動車販売事業は昨年度実績で売上高八十六億円。販売会社の新設で同事業の拡大を図る。

9

## 被災中小向け緊急融資制度

十日町市

新潟県十日町市は中小企業を対象に「中越地震災害緊急特別融資制度」を創設した。設備などに直接被害がなくても地震の影響で経営不振に陥った企業も対象。地元金融機関を通じて来年二月二十八日まで融資を行う。

融資使途の限度額は二千万円。利率は保証付きの場合は一・五%、無保証で一・七%。融資期間は十年以内。このほか年度末残高の一%を三年間に限り補助金として交付する。

住宅と宅地に被害を受けた一般市民向けにも復興資金貸付制度を創設した。限度額は住宅一千万円、宅地三百万円で融資する。利率は一・五%、償還は十五年以内。申し込みは十二月一日から二〇〇六年十一月三十日まで。問い合わせは同市役所（☎0257・57・3111）。

# 被災への改革

## 被災地企業の戦略

▷3◁

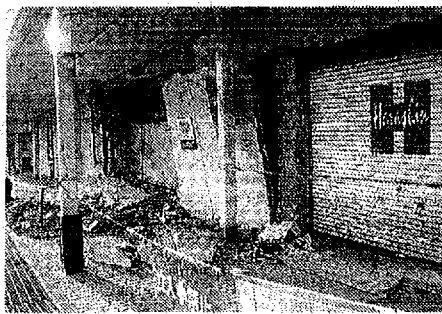
災害時、スーパーなど切らさないことが第一  
流通業が担う役割はひとと号を掛けた。

きは大きい。被災企業で 昨年七月の水害で三条  
あると同時に、被災地に 市の店舗が大きな被害を  
食料など緊急物資を供給 受けたが、このときの経  
する「支援者」として期 験が地震の初動などに役  
待に応えなければならな 立った。地震発生からわ  
い。

中越地域を地盤とする 本部に災害対策本部を設  
原信は全四十四店舗のう 置。携帯電話など通信網  
ち二十五店が被災した が機能しないため、担当  
が、地震翌日の二十四日 者が徹夜で各店舗に足を  
には小千谷市の駅前店な 運び状況を確認した。水  
ど三店を除いて店頭販売 乾電池など緊急性の高い  
などで営業を始めた。原 信一社長は「まず店を休  
まないこと、緊急物資を

### 原信

## 重要 保護の 情報管理



小千谷市の駅前店 (昨年10月末) 閉鎖となった  
激しく損壊が

く、従業員、顧客ともけが人はなかった。「店舗は雪国仕様で頑丈に作っており、建て替えるなど抜本的な対策は必要ない」と原社長は言う。

物資を優先的に運別し、避難所で不足しがちなことが分かっていった粉ミルク、女性の生理用品も用いた。新耐震基準以前に建てられた駅前店など三店は損壊がひどく閉鎖を余儀なくされたが、その他の店舗は大きな損傷はな

## 発注分散も 検討課題に

を検討している。原社長が大きな課題として挙げるのがデータベイスの保護。同社の情報保存・管理するコンピュータサーバーは長岡市の中心街にあるブリーズ店に置いていた。幸い損傷はなかったが、「水害を想定して二階に設置しておけば大丈夫だと考えていた。今後はサーバーを一元化せず、分散することを考えている」と言う。物流に関しては県外からの物資運搬は警備自動車道など、う回路を利用して何とかが乗り切った。ただ、納入業者が中越地域に集中していたため、被災した業者からの物資

10

# 減災への改革

被災地企業の戦略

▷ 5 ◁

予想よりも立ち上がり 田徹哉社長は振り返る。が早かったといわれてい 新潟三洋電子では危機管理 被災地の製造各社の中 理として地震の最大震度 で一人苦しんでいる感の を震度5強に想定。製造 ある小千谷市の新潟三洋 機器の固定やクリーンル 電子。昨年末に一部ライ ームの自動遮断、製造過 ンでの生産が復旧したも 程で使用する薬品やガス の、設備の被害は百八 の排出対策などを講じて 十四億円。在庫被害、復 いた。

旧費用などを合わせると 旧費用などを合わせると 損害は五百億円にも上 に、機器を床に固定して る。この影響で三洋電機 いたボルトは引きちぎら グループは今期、七百億 れ、最大一層も移動して 円以上の赤字になる見込 しまい、使用不能の状態 みた。 になってしまった。窪田

「震度6と震度5強は 全然違うということが身 にしみて分かった」と窪

## 新潟三洋電子

### 想定外震度に教訓



半導体工場としては世界でも例のない被害を受けた新潟三洋電子（新潟県小千谷市）

社長は「固定していない が、けが人もなくスムー 棚のウエハーが転落して ズに避難できた。また、 いないということもあっ グループのリスク管理規 だ。震度5強までなら、 定で衛星電話を装備して 機器などを固定するのが いたことも幸いした。地 有効だが、それ以上の揺 震後数日は通信網が遮断 れになるとかえって破損 されたため、衛星電話が が大きくなってしまふこ なければ被害の実情が本 社などに伝わらないとこ

難しさに困

惑してい

る。一方

で、

効果があ

ったのは年

一回行って

いた全従業

員を工場外

に退避させ

る。地震

発生時に約

二百人が作

業中だった

### 経験、業界に公表 対策へ

らだった。

今後の減災対策で、設 点から今後も生産の分散 備面の課題としては塩化 を進めていく方向で、新 潟三洋電子での生産は縮 小せざるを得ない。

た配管の設置法の変更が 用は守る。地震前より生 産性を高め、より良い品 質の製品を作りたい」と

話す。

また、未加入だったこ 同社長は「今回の地震

とで批判が出た地震保険 被害は世界中の半導体工

場でも例のないもの」と

る。ただ、今回の損害額 位置付け、「我々の経験

をカバーできる保険に加 を一社だけにとめてお

入するには年間十億円近 くのではなく、業界全体

い保険料を支払わねばな に公表して今後の地震対

らないとする試算もあ 策に役立ててもらいた

り、簡単には踏み切れな い」という。年内にはシ

い事情もある。

操作停止後は生産を群 被災時の対応、対策など

馬、岐阜県のグループ工 についての報告をする

場に移管した。グループ している。

# 被災への改革

## 被災地企業の戦略

▷6◁

「被災直後に最も必要だったのは水や食料よりも情報」。被災地では企業、個人を問わずこのよ

うな声が多い。地震後しばらくは携帯電話はつながらず、停電でテレビも見られなかった。最も情報が必要とする被災地が情報の空白地域になってしまったのだ。

### FMながおか

## 災害シフト 地域救う



3カ月間、臨時災害FM局として放送を続けた(長岡市のFMながおかスタジオ)

人々の命綱となったのがラジオだった。車中の避難生活が目立った今回

切断される  
と放送不能  
になるリス  
クがある。

停電でも  
二時間半程  
度は放送が  
止まらない  
システムを  
装備。その  
後は自家発  
電機を自動  
させて放送

## 即時・双方向性が強み

「〇〇町のガソリンスタンドが営業していま市などにも災害情報を提す」  
「〇〇さん、きょう供した。臨時FM局は九は出社しなくても大丈夫。家のことに専念してください」。大手メディアは対応が難しい情報  
を連日流した。視聴者か  
らの情報はどんなに細か  
なものでも放送した。協  
対が可能なようになった。  
屋局長は「即時性ととも  
に双方向性もコミュニケーションFMの強み」と話す。  
地震直後の十月二十七  
日からは長岡市が設置申  
請した臨時災害用FM放  
送局としての役割も担っ  
た。出力を通常の二十ワ  
から五十ワに上げ、視聴  
もよい」と言う。四月の  
井上亮が担当した。

(12)

